

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月10日

計画の名称	宇部新川駅を中心としたにぎわいのあるまちの顔づくり(第 期)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	宇部市												
計画の目標	当地区は、昭和31年に駅前広場の都市計画決定がなされていますが、駅舎、駅前広場はそれ以前に建設されたものを利用してあり、未整備のままとなっています。駅舎の老朽化や、公共交通の乗換が不便、車両と歩行者の動線が交わるなど、安全性・利便性の低い駅前広場であり、また、駅周辺では、交流スペースが不足し都市機能の集積が乏しく高度利用がされていない状況となっています。これらを解消するため、駅舎・駅前広場の整備による利便性の向上を図るとともに、駅周辺に不足している交流機能や都市機能の集積を行うため、土地の高度利用化を促進する再開発事業による「まちの顔」づくりに向け、基本計画を作成し、権利者の合意を図っていきます。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	20	A	20	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	宇部新川駅周辺の都市機能整備により、中心市街地の交流人口が拡大しにぎわいが創出されることで、歩行者通行量(休日)を11,011人/日から16,100人/日に増加させる。 中心市街地における歩行者通行量(休日)を測定	11011人/日	人/日	16100人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	宇部市	直接	宇部市	-	-	宇部新川駅周辺地区都市 再開発支援事業	コーディネート業務	宇部市						20	-	
											小計						20		
											合計						20		

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	宇部新川駅を中心としたにぎわいのあるまちの顔づくり（第Ⅱ期）	交付対象	宇部市
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）		



